

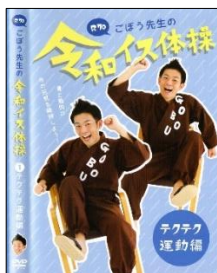


新着情報



千日紅

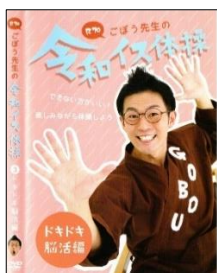
No.224 2020年 11月号



(D-2-8-44)



(D-2-8-45)



(D-2-8-46)

DVD 「R70 ごぼう先生の令和イソ体操 1～3」

GOBOU / 2019年

① テクテク運動編 13分

深呼吸で姿勢を正して、筋肉のストレッチ、テクテク足を動かして体力維持。終わった後は、体がスッキリする内容。レクリエーションとしても活用できる。

② モグモグ食事編 11分

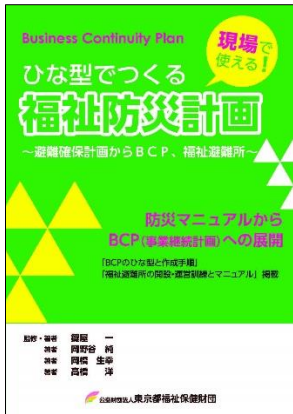
準備体操では、首周りのストレッチ、発声練習、表情筋のストレッチ、舌の運動でしっかり動かして、最後は「おにぎり先生」の登場で、笑顔で終わる口腔体操です。

③ ドキドキ脳活編 14分

頭では理解ができていても、実際行ってみると難しいドキドキ体操。「できない方が、良いんです！」を合言葉に、楽しみながら体を動かそう。

※体操は全てイスに座って行います。





(A30-78)

「ひな型でつくる福祉防災計画～避難確保計画からBCP、福祉避難所～」

鍵屋 一 ほか 著 / 東京都福祉保健財団

災害時においても事業を継続すべく努力されている福祉施設、福祉関係者を支援するため、総合的な「福祉防災計画」の作成の助けとなるよう、本書を作成。人命・尊厳を守る知識や、福祉避難所の開設・運営・訓練の内容も充実。福祉事業に従事される皆様の災害への備えに役立つ。



(A281-117)

「車椅子の横に立つ人 障害から見つめる「生きにくさ」」

荒井 裕樹 著 / 青土社

さまざまな「障害」を抱えながら、言葉にしづらい生きにくさを感じながらも生き延びるために表現をつづけた人たち。詩を描いたハンセン病患者、絵筆をとった心を病む人、路上にくりだした障害者…。かれらの不可視化される苦しみを浮かび上げらせる声は、息苦しい社会に風穴をあける。障害から言葉の谷間にある生きにくさを探る。



(A2661-555)

「認知症の人のイライラが消える接し方(介護ライブラリー)」

- 植 賀 寿 夫 / 著
- 講 談 社



(A2661-556)

「今日のわたしは、だれ? 認知症とともに生きる」

- ウェンディ・ミッチェル / 著
- 筑 摩 書 房



(A2663-483)

「リ・アセスメント力 リ・アセスメント支援シートを活用したケアマネジメント事例集」

- 「リ・アセスメント力」編集委員会 / 編集
- 東京都福祉保健財団



(A2814-199)

「APD「音は聞こえているのに聞きとれない」人たち 聴覚情報処理障害(APD)とうまくつきあう方法」

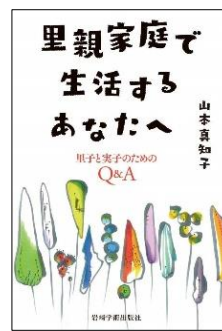
- 小 濑 千 絵 / 著
- さくら舎



(A2866-48)

「企業は、メンタルヘルスとどう向き合うか 経営戦略としての産業医」

- 尾林 誉史 ほか／著
- 祥伝社



(A43-45)

「里親家庭で生活するあなたへ 里子と実子のためのQ&A」

- 山本 真知子／著
- 岩崎学術出版社



(A2864-145)

「マンガでわかる愛着障害 自分を知り、幸せになるためのレッスン」

- 岡田 尊司／監修
- 光文社



(336.4-48)

「新コーチングが人を活かす」

- 鈴木 義幸／著
- ディスカヴァー・トゥエンティワン



(A2813-109)

「色弱の子どもがわかる本 家庭・保育園・学校でできるサポート術 コミックQ&A 増補改訂版」

- 岡部 正隆／監修
- かがわ出版



(A2841-233)

「楽々かあさんの伝える! 声かけ変換 発達障害&グレーゾーン子育てから生まれた」

- 大場 美鈴／著
- あさ出版



(A213-45)

「ホームレス消滅」

- 村田 らむ／著
- 幻冬舎



(A2661-557)

「マンガ認知症」

- ニコ・ニコルソン ほか／著
- 筑摩書房



(A2841-234)

「発達障害のウソ 専門家、製薬会社、マスコミの罪を問う」

- 米田 倫康／著
- 扶桑社



(A2660-547)

「利用者にも介助者にも安心・快適な介護技術 (DVD)」

- 高山 彰彦 ほか／監修
- 中央法規出版

おすすめ図書紹介

レクリエーション



(A264-343)

「高齢者が元気になるレクリエーション
介護現場で使える! 座ってできる!」
三瓶 あづさ 著 / 日本文芸社 / 2019年

高齢者施設で実際に役に立つ、かんたんなレクリエーションを50以上紹介。認知症予防として注目されている運動プログラム、「コグニサイズ」も収録。すべて座ったままでもできるので、誰でもたのしく参加できる。また、ゲームをより盛り上げる工夫として難易度アップの仕方やスタッフの声かけ例なども掲載。



(A264-346)

「高齢者のためのおやつレクリエーション」
鈴木 恵 監修 / 成美堂出版 / 2019年

おやつ作りにはさまざまな工程がある。作る過程で頭で考え、手先を使うので、認知症予防になる。また、皆で協力しながらおやつを作るので、自然にコミュニケーションが取れ精神面への効果も期待できる。すぐに使える利用者への「声かけ例」もたっぷり。スタッフも利用者の方も笑顔になる「おやつレク」をはじめましょう!

大阪市社会福祉研修・情報センター 2F 図書・資料閲覧室のご案内

◆開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

◆休 室 日：日曜日・祝日（土曜日は除く）・年末年始

※初めて借りる方、カードを忘れた方は現住所が分かるものをご提示ください。（運転免許証・健康保険証など）

◆住 所：〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20

◆電 話：06-4392-8233

◆URL：https://www.wel-osaka.jp

（↑DVDリストのダウンロードや、図書の検索ができます）

